



自治体病院のある地域は医療費が安い — 国の公的病院統合再編政策を考える

城西大学経営学部教授 伊関友伸

地域医療構想の実現に向けて 自治体病院の役割とは

現在、国は社会保障・税一体改革の一環で、医療・介護サービス提供体制改革を進めている。医療に関しては、入院医療の機能分化・強化と連携と地域包括ケア体制の整備を目指して、2014年6月に「医療介護総合確保推進法（以下、推進法）」が成立している。推進法では、地域における病床の機能の分化および連携を推進するため、「地域医療構想」を策定することが位置付けられた。現在、構想の実現に向けて構想区域ごとに、医療関係者等が参加した地域医療構想調整会議が開催され、議論が行われている。

国は、2018年6月15日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2018について」でも、「地域医療構想の実現に向けた個別の病院名や転換する病床数等の具体的対応方針について、昨年度に続いて集中的な

討を促し、2018年度中の策定を促進する。公立・公的医療機関については、地域の医療需要等を踏まえつつ、地域の民間医療機関では担うことができない高度急性期・急性期医療や不採算部門、過疎地等の医療提供等に重点化するように医療機能を見直し、これを達成するための再編・統合の議論を進める。このような自主的な取組による病床の機能分化・連携が進まない場合には、都道府県知事とその役割を適切に発揮できるよう、権限の在り方について、速やかに関係審議会等において検討を進める。」が位置付けられた。2019年度の基本方針においても、同様の議論がなされると思われる。

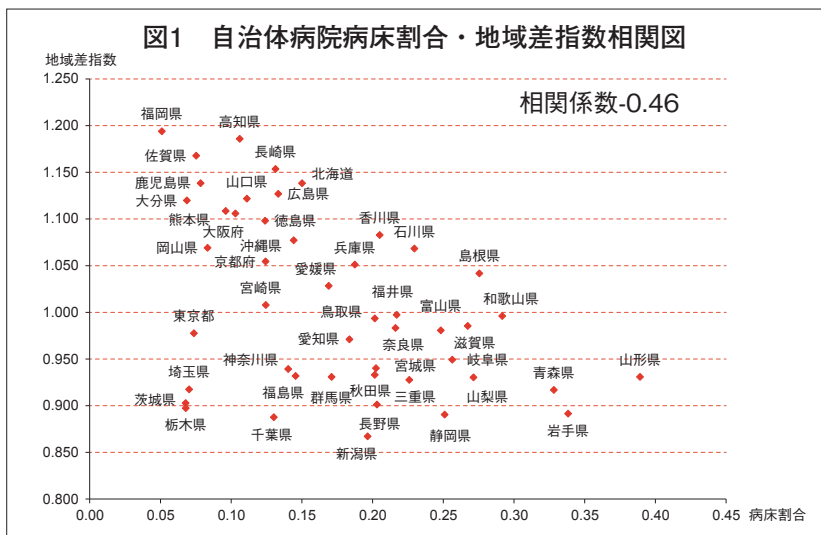
2018年12月20日には「新経済・財政再生計画改革工程表2018（以下、改革行程表2018とする）」が公表された。「社会保障3. 医療・福祉サービス改革」においては、政策目標として、「指標①」医療費・介護費の適正化、「指標②」年齢調整後の一人あたり医療費の地域差半減」が上げられ、具体化

のための取り組みとして、「26 ii. 地域医療構想の実現（公立・公的医療機関について民間医療機関では担うことができない機能に重点化するように再編・統合の議論を進める）」が示されている。具体的な、数値目標（KPI）として「公立病院改革プランまたは公的医療機関等2025プラン対象病院のうち、地域医療構想調整会議において具体的方針について合意に至った医療施設の病床の割合【2018年度末までに100%】」「地域医療構想調整会議において公立・公的病院等の非稼働病床の対応方針について合意に至った割合【2018年度末までに100%】」が上げられている。

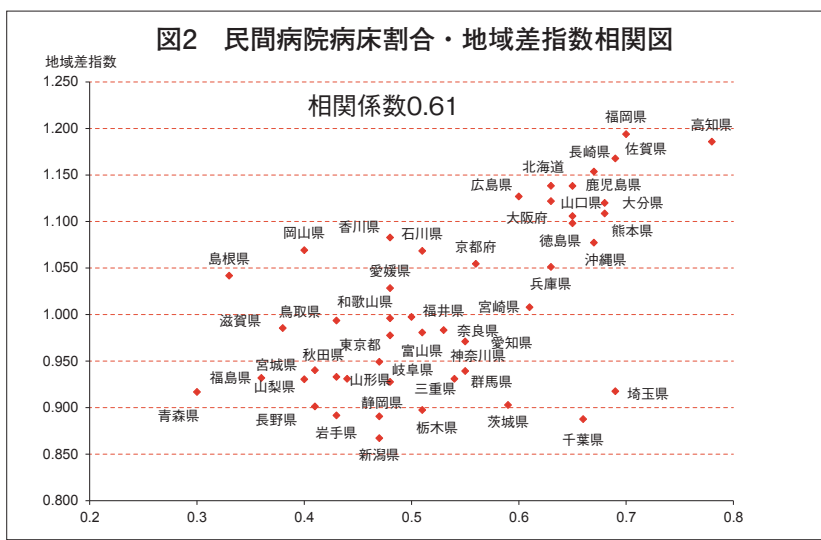
自治体病院は、地方自治体から税金が投入されていることから、民間医療機関経営者などから厳しい目にさらされている。「イコールフットリング」の考え方から、税金が投入されている自治体病院は大幅に役割を縮小し、税金の投入を全て廃止し、民間医療機関を中心に全て医療を担うべきと主張する人もいる。

自治体病院の多い地域は医療費が低い

自治体病院への税金投入が批判されているが、自治体病院が立地する地域では、医療費の地域差指数が低いというデータがある。図1は、2015年の一人当たり年齢調整後医療費（市町村国民健康保険＋後期高齢者医療制度）を都道府県別に指数化した地域差指数と、その自治体における自治体病



院の病床数の割合を相関させたグラフである。自治体病院の病床数の割合の高い地域は、地域差指数が低い傾向が存在する。その一方、図2のように、民間病院の割合が高くなることで医療費の支出が多くなる傾向もある。税金が投入されていることに批判がある自治体病院であるが、安い医療費を実現し、医療保険制度の安定的運営と患者負担の軽減を実現していることは評価されて良いと考える。



このようなデータを踏まえ、国が一方的に民間医療機関の補完と重点化の視点を強調することは納得がいかない面がある。少なくとも改革行程表2018の「指標②」年調整後の一人あたり医療費の地域差半減」の目標達成のために、「公立・公的医療機関について民間医療機関では担うことができな機能に重点化するよう再編・統合の議論を進める」ことは論理的ではないと考える。

筆者プロフィール

伊関友伸 (いせき ともし)

1987年埼玉県入庁、県民総務課、大和町企画財政課長、県立病院課、社会福祉課、精神保健総合センターなどを経て、2004年城西大学経営学部准教授、2011年4月同教授。研究テーマは、行政評価、自治体病院の経営、保健・医療・福祉のマネジメント。総務省公立病院に関する財政措置のあり方等検討委員会など、数多くの国・地方自治体の委員等を務める。著書に「まちに病院を!」(岩波ブックレット)「自治体病院の歴史 住民医療の歩みとこれから」(三輪書店)などがある。

タイトルの「アスクレピオスの杖」とは、ギリシア神話に登場する名医アスクレピオスの持っていた蛇(フスヘビ)の巻きついた杖。医療・医学の象徴として世界的に広く用いられているシンボルマークである。